

広告料金のご案内

この料金には消費税が含まれていません

農業共済新聞

基本料金

記事下 全1段.....150,000円

カラー広告追加料金.....300,000円

広告差し替え料金.....30,000円

突き出し[1面]

天地7.0cm:左右6.0cm

100,000円

題字下[1面]

天地7.0cm:左右3.6cm

100,000円

書籍広告[1面]

スペース3段6分の1

天地9.9cm:左右5.9cm

50,000円

5段4分の1

天地16.9cm:左右9.2cm

187,500円

5段2分の1

天地16.9cm:左右18.5cm

375,000円

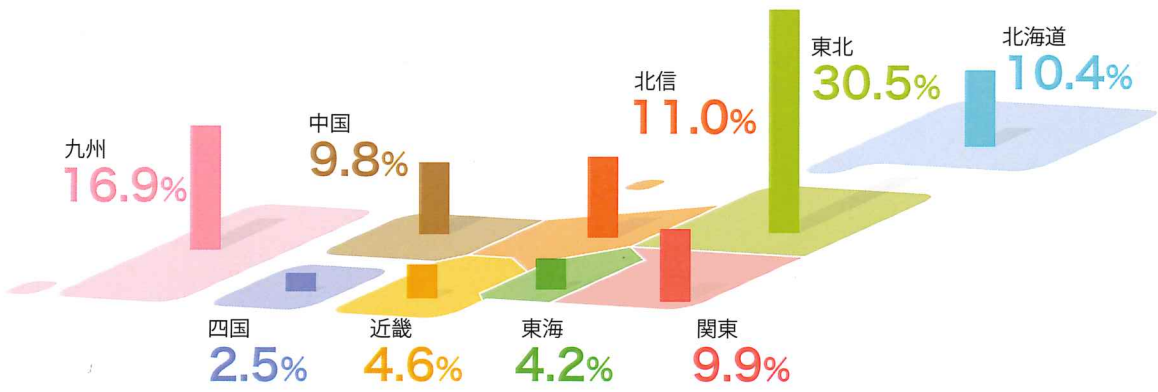
全5段

天地16.9cm:左右37.4cm

750,000円

農業共済新聞エリア別購読比率

令和2年6月現在



農業共済新聞は
月4回・水曜日発行です

購読料 月極購読料 [税込み] 495円
年極購読料 [税込み] 5,520円



発行 公益社団法人全国農業共済協会 〒102-8411 東京都千代田区一番町19番地
TEL 03-3263-6727 FAX 03-3221-7978 <http://www.nosai.or.jp/shinbun.php>



媒体資料

農業共済新聞

営農と暮らしのヒントを
毎週お届けします



地域を元気に、 価値ある情報をわかりやすく

農業共済新聞は、農業・農村の振興とともに、農業者の経営安定に寄与する収入保険制度や農業共済制度の普及推進を目指す農業専門紙です。1948年4月の創刊から70年以上、営農と暮らしに役立つ情報の提供に努めてきました。一貫して「農家に学び 農家に返す」を編集方針とし、農業・農村の生産現場に軸足を置いています。

紙面は、分かりやすい農政解説や生産現場の工夫を紹介するルポなど営農・暮らしを豊かにする情報のほか、読み物やクイズなども掲載し、家族で楽しめる内容の充実に努めています。収入保険制度や農業共済制度については、その役割や基本的な仕組み、災害時の対応など農業共済団体の活動も含めて紹介しています。編集は、発行元の全国農業共済協会と全国の農業共済団体による組織編集に取り組み、地域の情報を掲載する地方版は、ほぼ全国をカバーしています。

1 面

農業・農村に展望を開く先進的な営農や地域の取り組みを、農業者の視点から立体的なルポで紹介します。農政の重要課題は、政府の対応などを生産現場の視点から掘り下げて報道・解説します。また、自然災害による損失を補てんする農業共済制度、新型コロナの影響を含め多様なリスクに対応する収入保険制度の仕組みや機能、地域農業・農村振興に貢献する団体の活動を紹介します。著名人が登場する「いま伝えたい」、有識者による寄稿「ひと・意見」、農家が執筆する「大波小波」や農家など8人の筆者が執筆するコラム「ズバリ直言」も好評です。

総合面

貿易自由化や農業・農村振興などの農政をめぐる情勢や今後の展望などについて、農業者の視点から背景事情も含めわかりやすく解説しています。農作業安全や鳥獣害防止対策をはじめ、営農や生活にかかわるさまざまな課題の解決に向けた先進事例なども取り上げています。読者が自由に投稿できる「あぜ道」は、農政への要望や農業・農村の現場からの率直な声が分かると人気です。

すまいる

地域を活気づけようとする女性や高齢者などの活動を紹介するほか、専門家に依頼して生活に役立つ情報の提供に努めています。農家女性が身近な出来事や考え方を交代で紹介する人気のコラム「晴れ間」のほか、料理コーナーや4コマ漫画などの連載も充実しています。また、伝統文化に関する話題や著名な品種の開発秘話、歌壇・俳壇、著書紹介などの読み物、昆虫のコラムや手作りおもちゃなど、家族で楽しめる企画も充実しています。

流通・ビジネス

「流通」は、農家や地域の活動などを紹介します。主要品目の市況や市場の動き、直売所、輸出など幅広い分野の専門家によるコラムを掲載し、経営の参考になる最新情報の提供に努めています。「ビジネス」は、農畜産物の販路開拓をはじめ、加工品開発や販売の工夫、産地づくりなどに励む先進的な農業者の経営ルポのほか、経営理念の紹介や青色申告、経営のヒントなど経営者に必要な情報やステップアップするためのポイントなどを解説しています。

農業保険・NOSAI部長

農業者の経営安定に寄与する収入保険制度や農業共済制度について、基本的な仕組みや農業・地域の振興に果たしている役割などを分かりやすく解説します。地域の農家代表として制度の普及に尽力するNOSAI部長を紹介するほか、損害の未然防止や地域貢献を目指して活動するNOSAI団体の活動も取り上げます。NOSAI獣医師が診療活動の様子などを執筆する「こんにちは獣医師です」も好評です。

営農技術

営農や経営に役立つ農業者の創意工夫を各地に取材し、成果や実践上のポイントを解説しています。スマート農業など試験研究機関による最新の研究成果は、図や写真などを使い、わかりやすい紹介に努めています。連載は、専門家に依頼し、基本技術や先端技術の解説、経営のヒントなどを掲載しています。農業資材の効率的な利用や農機具の管理、病害虫防除など時期ごとの作業に対応した企画記事を掲載しています。

地方版

地域の身近な話題を紹介する地方版は、北海道や県単位の単独版のほか、2県以上が共同編集する共通版をお届けしています。営農の工夫や鳥獣害対策、直売所や特産品づくり、若手後継者や高齢者農家の活動など、地域に密着した話題を紹介しています。北海道と東北地方では、地域に密着した営農技術情報をお届けする営農技術版を発行しています。

北海道版	新潟版	長崎版
青森版	富山版	九州北部版
岩手版	北陸版	熊本版
宮城版	長野版	鹿児島版
秋田版	東海版	九州南版
山形版	近畿版	総合地方版
福島版	中国版	北海道営農技術版
東北版	四国版	東北営農技術版
北関東版		
首都圏版		

(地方版の発行は令和2年度の状況をもとに記載しています)

農業共済新聞の主なあゆみ

- 1948年(昭和23年)
「農業共済新聞」創刊(4月21日)
タブロイド半裁判、4ページ、13,000部
月1〜2回発行、定価5円
発行所：農業家畜保険協会。
第7号(9月10日発行)タブロイド判、4ページ
新聞名「農業共済」第三種郵便物認可(11月8日)
- 1949年(昭和24年)
第12号(2月10日発行)月2回発行
- 1950年(昭和25年)
第34号(1月1日発行)月3回発行
発行所名を全国農業共済協会と改称(2月)
- 1951年(昭和26年)
第90号(9月4日発行)月4回発行
- 1952年(昭和27年)
「農業共済」を「農業共済新聞」と改称(4月)
第140号(10月7日発行)
題字を横組みから縦組みに変更
大判15段組み、地方版8段。
- 1962年(昭和37年)
「北海道営農技術版」創刊(6月27日)
- 1965年(昭和40年)
北海道支局開局(6月28日)
北海道営農技術版を月3回発行
- 1971年(昭和46年)
創刊1000号発行記念号(2月10日発行)
- 1974年(昭和49年)
東北総局開局(3月1日)
「東北営農技術版」創刊(4月17日)
- 1992年(平成4年)
創刊2000号発行記念号(5月20日発行)
農業共済新聞のマスコット「ノーサイくん」誕生
- 1993年(平成5年)
過去最高部数330,714部(3月)の達成
- 2001年(平成13年)
編集をDTPシステムに全面移行
- 2013年(平成25年)
創刊3000号発行記念号(8月28日発行)
- 2018年(平成30年)
創刊70周年記念特集号(4月25日発行)